



クリニクレポート



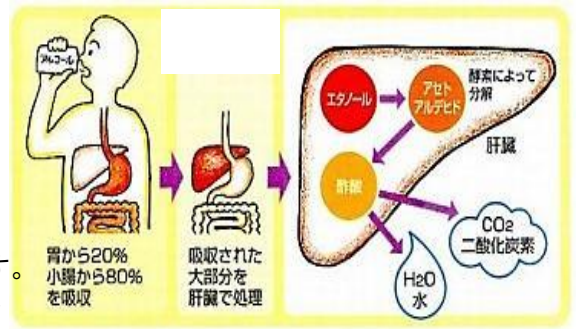
今月の話題: 急性アルコール中毒

春は、進学、就職、職場の配置転換などで環境が大きく変わる季節です。歓迎会などでお酒を飲む機会も増えますね。毎年、この時期に救急車が出動するのは、飲み過ぎによる急性アルコール中毒です。今回はこの急性アルコール中毒についてレポートします。

急性アルコール中毒のメカニズム

アルコールは20%ぐらい胃で吸収され、残りは小腸で吸収されます。腸での吸収は速いと言われています。

腸から吸収されたアルコールは肝臓で酢酸に分解されます。分解しきれずに血中アルコール濃度が上昇すると、アルコールにより脳の呼吸・循環中枢が麻痺し、呼吸停止や心拍停止、吐物による窒息などで死に至ることがあります。一般に若年者・女性・高齢者はアルコールの分解が遅く、飲酒によるリスクが高まります。



アルコールの分解

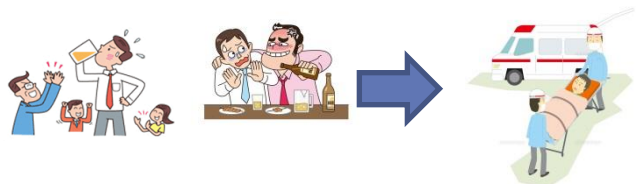


※アセトアルデヒド脱水素酵素は遺伝で決まっている3つのタイプ(活性型、低活性型、非活性型)があり、低活性型、非活性型の方は、アルコールの分解が遅くなることが知られています。また、女性は男性より、年少者と高齢者は分解が遅いと言われています。

急性アルコール中毒の原因

以下のことが原因で、血中アルコール濃度が一定値を超えるために急性アルコール中毒になります。

- **短時間の多量飲酒。**
アルコール血中濃度が0.4%を超える、または、1時間以内にビール350mlを10本以上飲み急性アルコール中毒を発症すると、危険な状態に陥る確率が高くなります。
- **アルコール分解の遅い人(お酒に弱い人)の飲酒。**
少量の飲酒でも急性アルコール中毒になる危険があります。
飲酒を強要すること自体が法律違反になります(「酒によって公衆に迷惑をかける行為の防止等に関する法律」)。
体調を崩すことがわかっていながら飲酒を強要し急性アルコール中毒で死亡させた場合は、障害致死が適用される場合がありますので絶対にやめましょう。



お酒を飲んでこんな症状があったら・・・

1. 嘔吐、頭痛、一人で歩けない
 2. 意識がない、体温低下、呼吸が弱い、口から泡を吐いているなど
- 絶対一人にしないことが原則です。2については救急車を呼びましょう。



横向きに寝かせる



保温する

『お酒は適量を、ゆっくりと、つまみと一緒に楽しみましょう』



救急車を呼ぶ

【お問合せ】医療法人尚豊会 四日市健診クリニック 健康企画室健康増進グループ TEL059-330-7735】